

第31回 いたて村文化祭

第31回 いたて村文化祭
感動を咲かせよう



第31回を迎えるいたて村文化祭が10月25・26日の2日間、福島市飯坂町のパルセイイざかで開催されました。オープニングセレモニーでは主催者を代表し愛澤文良委員長が「村民の皆さんのご協力により、文化祭を開催することが出来ます。飯館村のパワーを感じてください」とあいさつ。また、震災後、様々な支援をいただいている栃木県鹿沼市茂木町のゆるキャラが登場し、開幕に華をそえました。

1100点の作品展示
心を込めた逸品

震災後、文化祭が開催されるのは3回目。村の子どもたちや村民らが作った約1100点の文化作品、手工芸品が展示されました。また、ステージでは幼稚園児による和太鼓演奏、「沖縄までの旅」「未来への翼ドイツ研修」の報告、文化団体・自主サークル等の発表があり、来場者を楽しませました。

受け継がれる伝統

今回の文化祭では、外内の手踊り、大倉の神楽、赤坂の神楽、比曽の三匹獅子舞が披露されました。避難生活が続く中、練習時間の確保、後継者等の課題があっても、村の伝統芸能は力強く継承されています。

赤坂の神楽

外内の手踊り

比曽の三匹獅子舞

大蔵の神楽



▲福島市芸能協会の踊りや、飯坂太鼓が披露されました



村小学生による「までののロンド」合唱



茂木町
ゆずも

鹿沼市
ベリッちゃん



今井さん
大蔵の神楽



佐藤ミイ子さん(大倉)
「去年は、(そばが)売り切れて食べられなかったのですが今年は食べられて良かったです」



細杉利征さん(相農飯館校2年)
「相農飯館校から12人のボランティアスタッフで参加しました。たくさんの方が集まると楽しいですね」



齋藤トメヨさん(佐須)
「中学生の孫が踊る田植え踊りを見て、元気をもらいました」



佐藤ファミリー(深谷)
「家族の作品を集めて、出品しました。いい思い出になります」



田植え踊り
がんばりましょ



村長賞

ボランティアグループ おひさま
「みんなで集まって、飯館マップを作りました。わいわい楽しい時間でした」



渡邊しづえさん(飯桶町)
「村を思い出すと、どんどん言葉が出てきます。これからも、自分の言葉を残していきたいです」